

事業活動報告

「久留里子ども樹木博士」

樹木医 小池英憲

開催日 平成 21 年 7 月 26 日（日）晴れ
9：00～15：00 頃

場 所 君津市森林体験センターとその
周辺

参加者 合計 40 名（子ども 11 名、付き添
い 10 名、スタッフ 19 名）

主 催 日本樹木医会千葉県支部、千葉県
森林インストラクター会、NPO
法人樹の生命を守る会

後 援 林野庁千葉森林管理事務所、君津
市教育委員会、ちば里山クラフト
研究会

開催内容

夏休みに入り最初の日曜日に、8 回目の子
ども樹木博士を開催し無事終了した。

参加者は、小学校 2～6 年生で低学年が多
く、地元の子供達と遠方の我孫子市や市川
市からの参加もあった。午前 1 組、午後 1 組
の出発でそれぞれに父兄関係者が 10 名程度
付き添う楽しい会となった。今回、千葉県緑
化推進委員会の重田様が本事業の運営を見学
に参加されたので、今後の一連の活動の発展
に繋がると期待している。



（写真 1 . 樹木説明）

成績は高学年ほど回答率が良い結果となっ

ているがバラツキもあり、個人の樹木に対す
る興味の違いが大きいと思われる。

毎年、クリの回答率が良く、ヒサカキ・ケ
ヤキの回答率が悪い傾向は同じである。しか
し、今回はゆっくり説明した効果か全体的に
回答率は向上している。特にカクレミノの回
答率が 91%（例年 30%以下）と急に上がったのは、説明者が絵を使うなどの工夫（写真
1）の成果と思われる。回答率が悪いとあき
らめずに工夫することで子供たちに理解して
もらえる事が分った事は、大きな成果であっ
た。

最後に竹内実行委員長から、草笛の演奏を
バックに認定書が渡されたが（写真 2）、その
時の子ども達の笑顔は毎回スタッフの心を癒
してくれる素晴らしい瞬間である。認定書授
与後、子ども達は最も楽しい小枝のクラフト
や火起こし体験を、時間を忘れて行った。

本事業終了後の反省会では、案内スタッ
フの役割に関する厳しい意見が先輩から出た。
これは、参加者が少ない事などが原因で、曖
昧に流れがちな気持ちを引き締める有難い意
見であった。本事業は、フォーマルなスタイ
ルを崩さない方針でこれまで行って来たので、
今後も気を引き締めて取り組みたい。最後に
NPO法人樹の生命を守る会中村理事長から、
今後も続けて行きたいとの言葉があった。



（写真 2 . 認定書授与式）